今日の流れ

1. **風向風速計を作る**

30~40分



2. 自分が作った風速計 を使って、風速と風 紋の関係を調べる。

約30分



3. 実験結果をまとめる

実験で使う装置

そう ふう き **送風機**



携帯用風速計



じな ふうそくけい 自作風速計



ふうどう風洞



じっけんないよう実験内容

グループ1

① 実際の風速を測る







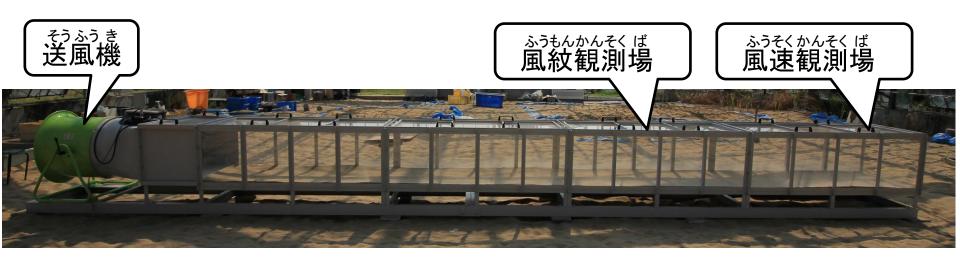
② 同じ風を使って、自作風速計で風速を測る







グループ2



- 3回違う風速で風紋を作る
- ② **風紋の間隔を測る**
- 3 風紋を出来たときの風速を自作風速計で測る

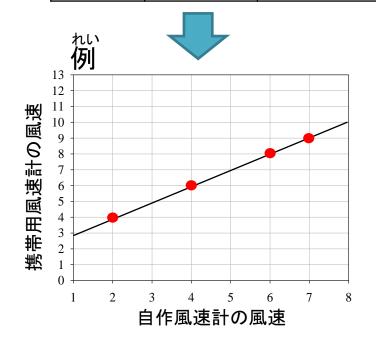
風紋の実験が終わったら、グループ1と交代

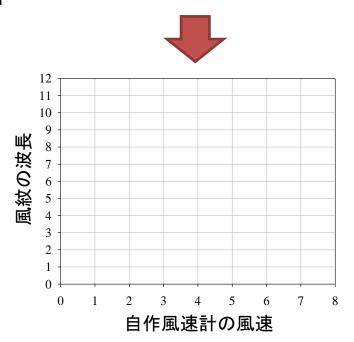
じっけん けっか 実験結果まとめ

れい **何**

	自作風速計 の風速(m/s)	携帯用風速計 の風速(m/s)
1回目	2	4
2回目	4	6
3回目	6	8
4回目	7	9

	自作風速計 の風速(m/s)	風紋の間隔(cm)
1回目		
2回目		
3回目		





ふうもん **風紋のでき方**

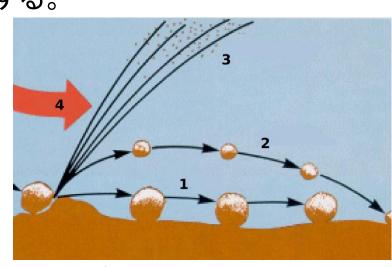
- ① 砂を動かす風
- ② 砂がよく乾いてる
- ③ 砂が固まっていない
- ④ 砂の粒の大きさが揃っている(鳥取砂丘の砂は100-1000µm)

 $1\mu m = 1/1000 mm$

嵐紋は砂の跳躍運動によって生成される

風 (4) が 吹くと、3 つの パターンで 粒子が 移動する。

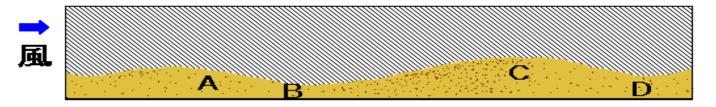
- (1)転がるようにして進む砂
- (2)跳ねながら進む砂(跳躍が最初に起こる)
- (3)空中を浮遊する砂
- すなつぶ ちょうやくうんどう ち めん しょうとつ 砂粒が跳躍運動で地面に衝突する。



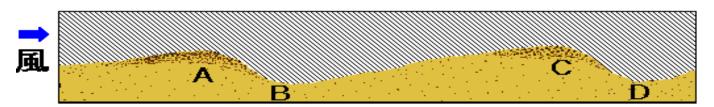
砂粒が風によって移動するようす

① 乾燥した砂の表面には、目に見えない凸凹があります。

② 図中の向きに風が吹くと、飛んできた砂が斜面AB、斜面BCに衝突します。その回数は斜面BCの方が多く、砂の堆積量に差ができます。



③ 砂の移動とともにB点では砂が掘り下げられ、C点では斜面BCに堆積した砂や、B点から移動してきた砂堆積して高さが増しC付近に堆積した砂のうち、小さな粒は吹き飛ばされ、比較的大きな粒の砂は残り、BC間の高低差がついて風紋の形がはっきりしてきます。



風速計の作り方

用意するもの

デープ カッター ハサミ のり





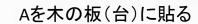




パッツを厚紙に貼って、パッツABCD をハサミで切り取る。

(パッツCDを貼る)



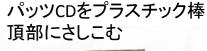




木の棒を台にさし



プラスチック棒を木の棒にかぶせる





アルミ棒をプラスチック棒 の穴に入れる



アルミ棒にパッツBを テープでとめて完成です

